

● ジャンプアンドスマイルセンターに改名

フラハセンターとして開所しましたエイズ感染孤児施設ですが、政府からの援助も多少受けられるとのことから、政府公認の施設として登録をしようとしたところ、既にフラハセンターは他の団体が登録していて、改名を余儀なくされ、みんなで協議したところ、「ジャンプアンドスマイルチルドレンセンター(Jump & Smile Children Centre=以後JSCC)」として、登録をさせて頂きました。

● 国内最大の孤児イベント 当会 JSCC で開催



【センター多目的ホールにてシーツを受け取る子ども達】

2013年12月13日 ケニア最大の孤児支援イベントが、当会のエイズ感染孤児施設「ジャンプアンドスマイルチルドレンセンター(JSCC)」で行われ、エンブ県教育局長を始め、約500人が集まりました。

毛布や敷布、せっけんや食料などがJSCCの子ども達に贈呈され、その感謝のしるしに、歌や踊りなど披露し、その様子がケニア国内のFM局やテレビで放映されるなど、大変盛大なイベントとなりました。

開所1年目にして、このような大きなイベントの会場として選んで頂いたのも、開所当初より、設備の充実はもとより、子どもの将来を考えた素晴らしい施設であるとの視察関係者の口コミによるものが大きいようで、有難いことです。皆さまの善意の義援金の一部は、このエイズ感染孤児施設の運営に使わせて頂いております。この子ども達が将来に希望を持てるよう、生まれてきてよかったと思える環境を整えられるよう、支援活動をしております。

● 新学期がはじまりました

子ども達が入寮して、早1年が経ちました。最初は小学校までの2キロほどの道のりも、入寮当初は体力がなく、途中で疲れ果ててしまい、泣き出してしまう子もいましたが、今では元気に勇んで通学しています。

【いってきまーす！】



ケニアの学校の新学期は1月からですので、それぞれ1つずつ学年が上がりました。新しい鉛筆、新しいノートを日本の支援者の方々から送られた通園かばんに入れ、通学しています。

中でも新1年生に上がった子たちの、この笑顔を見てください。



【ピッカピカの1年生】

**1,000円で、1人の子どもが1ヶ月小学校に通えます！
ご支援お願いいたします。**

● エナヘルス 手術室 公式開所式



【テープカットをするワンボラ知事(中央)
塩尻現地事務所所長(右)】

2013年12月20日 エンブ郡知事 マーティン・ワンボラ氏をはじめ、保健省や地域の代表など、約100人を迎え、当会エナヘルスセンター併設の手術室の正式な開所式が行われました。

テープカットの前に、エナヘルスセンター検査室、レントゲン室などを視察し、必要な設備が充実していること、入院病棟や産科病棟では、すべてのベッドが患者で埋まっていること、産科は前夜だけでも6人の出産があり、そのうち自然分娩が5件、帝王切開術が1件だったと報告を受け、このエナヘルスセンターがいかに地元貢献しているかを、実際に目の当たりにし、お褒めの言葉を頂きました。

~~~~~

\*エンブカウンティ-: 旧エンブ県+旧ベレー県  
上記2県の合併と新法律施行により、エンブ郡になり、知事が最高指揮官となった。

● 「Mottainai セミナー」

外務省 NGO 連携無償資金協力により、「循環型社会に向けたリサイクルシステム構築支援事業」を実施しています。町の生ゴミを資源化して、周辺の農家による増産活動を結びつけた「循環型リサイクルシステム」を構築することで、それまで活用されることのなかった生ゴミが、堆肥化の資源として見直されることになりました。

11月からはほぼ毎週行っているセミナーでは、毎回平均30名を超す農民や環境改善団体の人々が参加しています。また、セミナーの中ではノーベル平和賞を受賞された「MOTTAINAI(もったいない)」のワンガイ・マータイさんの言葉を広め、「無駄をなくす生活を心がけよう」と呼びかけており、こうしてセミナーを受けてくれた人たちは、事後調査で自宅を訪ねると「MOTTAINAI!」と挨拶をしてくれるなど、そのインパクトは大きいものとなっています。

また、住民らが小さなグループを作り、堆肥を製品化し、販売するため起業したグループもあり、産業活動が活発化し、経済の底上げによる経済格差の縮小といった相乗効果も期待されています。(事業担当者新井氏談)



【特産品のケニア紅茶にも有効だと聞き、導入した紅茶農家】



振込先: ゆうちょ銀行 振替口座 番号: 00930-8-66355

口座名義人: アフリカ児童教育基金 (カナ表記: アフリカジドウキョウイクキケン)

ATM でゆうちょ口座より電信振替をすると、現在、手数料が無料ですが、住所が表示されませんので、通信欄に住所をご記入ください。または、電子メールで振込んだ旨、お知らせください ([headquarters@acef-jpn.com](mailto:headquarters@acef-jpn.com))

確認後、領収書を郵送させていただきます。

作成・発行: (特非)アフリカ児童教育基金の会 ACEF 日本事務局 〒632-0063 奈良県天理市西長柄町 265-4

ロゴが新しく  
なりました!

TEL&FAX: 0743-25-6935 電子メール: [headquarters@acef-jpn.com](mailto:headquarters@acef-jpn.com)

現地事務所 Africa Children Education Fund (ACEF) P.O.Box1365-60100 Embu, Kenya

ホームページ: <http://www.acef-jpn.com>

2014年1月発行